

村上駅周辺まちづくりプランの策定について

1. 村上市の計画における村上駅周辺の位置づけ

[第1次村上市総合計画]

◎ 安全で快適な住みよいまちづくり

＜公共交通の充実＞

- ・主要となる駅周辺の回遊性*を高め、利便性の向上、アクセス性の向上を図るため、東西自由通路など公共基盤の整備を検討します。

※回遊性：駅施設や駅周辺の交通環境改善を図り、行き止まりのない動線をつくることで往来しやすくすること。

[村上市都市計画マスタープラン]

◎ 村上駅周辺に関連する整備方針

＜JR村上駅＞

- ・橋上駅化も視野に駅西口の開設を目指す。
- ・交通結節点としてパーク&ライド、駐輪場、バスプールなど、乗り継ぎ機能向上を目指す。

＜JR村上駅周辺の大規模未利用地＞

- ・交通便利性を活用した当市に相応しい都市型住宅や地域物産展示販売、アミューズメント、防災、緑の交流空間などに配慮した都市機能の整備を目指す。

2. 村上駅周辺まちづくりプラン策定の背景、目的及びプランの位置づけ

厚生連村上総合病院（以下「村上総合病院」）が村上駅西側に移転する計画があり、現村上駅前の区域が、空洞化、衰退しないよう移転後の跡地利用策や活性化策、及び駅周辺の土地利用や施設整備について検討する必要があることから、村上駅周辺のまちづくりを推進するための基本的な方針及び計画として「村上駅周辺まちづくりプラン」（以下「まちづくりプラン」）を策定します。

まちづくりプランは、村上市都市計画マスタープランの方針に則り、駅西口の開設も考慮した駅の東西間移動に係る整備や、市民の利便性の向上を図る駅の西側の整備、及び村上総合病院移転後の跡地利用を柱としたハード面の整備と、活性化のためのソフト事業について計画したいと考えています。

なお、まちづくりプランで計画された事業は、村上駅周辺のまちづくりの基本方針実現のための方策であり、事業の実施については、その時点での本市の財政状況、社会情勢を考慮し、実施の可否、実施時期、事業の詳細部分、活用できる国県の支援事業等を改めて検討することになります。

3. 村上駅周辺地区の現況等

＜駅周辺地区の人口＞ 市全体人口 66,427人

- ・村上駅から半径500メートル : 1,703人
- ・村上駅から半径1キロメートル : 10,083人（市全体の約15%）

【平成22年国勢調査】

＜JR村上駅＞

- ・平成22年度 JR東日本が村上駅バリアフリー化設備の整備を行い、車椅子対応型エレベーター設置とホーム間の連絡跨線橋を整備。
- 国と市は、補助金を交付。（整備事業費の3分の1ずつ）

＜村上総合病院＞

厚生連村上総合病院は、県北地域の基幹病院として、救急告示病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院などに指定され、地域医療における重要な役割をはたしていますが、現在の病院施設（本館）は建築から約45年が経過し、老朽化・狭隘化が進んでいるほか、建物の耐震性に懸念があるなど建て替えが大きな課題となってきました。

厚生連では平成20年頃から移転新築の検討が始まり、当初は4箇所（旧ジャスコ跡地、山居山、山辺里、駅西）を候補地として検討されてきましたが、検討を進める中で、旧ジャスコ跡地は土壌汚染が確認されたこと、山居山は地質に課題のあることから候補地から除かれることとなりました。

このような経緯から、現在地、山辺里、駅西の3箇所について検討が行われることとなりましたが、厚生連において駅西を新築候補地とすることが決定され、平成25年5月村上市に対し候補地決定の報告がありました。

新病院の完成と開院時期については、現時点では未定です。

＜旧ジャスコ跡地＞

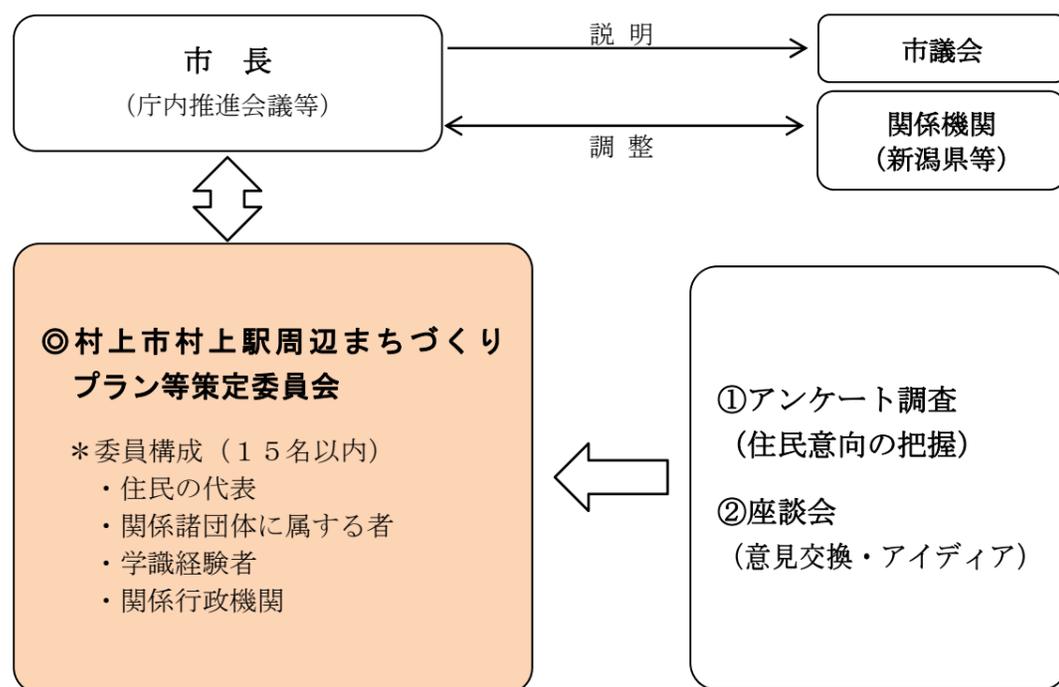
旧ジャスコ跡地の面積は、約1万平方メートルです。

ジャスコ以前に製錬工場が建っていた場所で、イオンが所有している土地です。

病院の移転場所候補として検討されていたため、平成23年、市では、病院建設用地として適地かどうか確認するボーリング調査を実施しましたが、有害物質を確認したことから、病院用地には不適切と判断されました。

現在、アスファルト舗装されており、村上総合病院が借り受け、有料駐車場として使用しています。

4. 策定体制



①アンケート調査 (調査期間：平成25年11月～12月)

- a. 一般市民 (20歳以上) 無作為抽出 b. 駅周辺居住者を除く)
配布数 3,000通・回答数 1,350通・回収率 45.0%
- b. 村上駅周辺居住者 (全戸：田端町、飯野西、緑町、松原町)
配布数 1,052通・回答数 568通・回収率 54.0%
- c. 高校生 (村上、村上桜ヶ丘、村上中等教育学校)
配布数 403通・回答数 403通・回収率 100.0%
- d. 村上駅利用者
配布数 580通・回答数 209通・回収率 36.0%

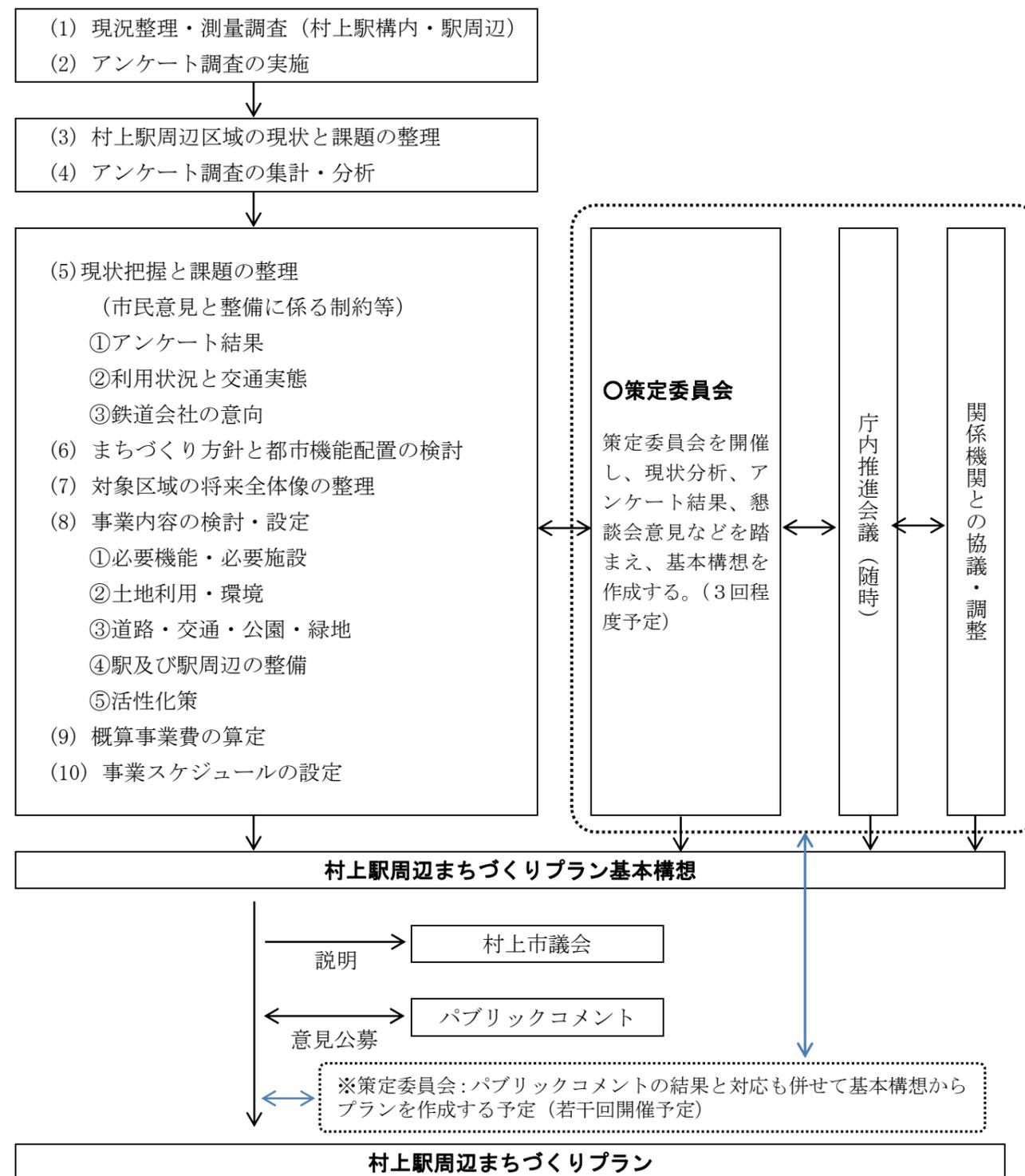
②座談会 (開催日：平成26年1月21日・29日・2月6日)

- ・参加者：30人 (まちづくり協議会、村上商工会議所青年部、いわふね青年会議所、都岐沙羅パートナーズセンター、瀬波温泉旅館協同組合、村上駅前商店街振興組合、村上市観光協会、村上市PTA協議会、一般公募)
- ・会場：村上市生涯学習推進センター及び村上市教育情報センター
- ・ワークショップ形式による意見交換

【意見交換内容】

- a. 駅周辺地区の全体像：良いところ・改善すべきところ、10年後の将来像
- b. 駅の機能及び移動環境：駅及び駅周辺の施設整備と移動環境
- c. 駅周辺のまちづくり：駅前・まちなかの活性化策

5. 策定フロー



6. 委員会スケジュール（案）

開催時期等	審議事項等	備考
第1回 (2月12日)	<ul style="list-style-type: none"> ○委員委嘱 ○正副委員長の選出 ○策定委員会の設置について ○まちづくりプランの策定について <ul style="list-style-type: none"> ・策定の背景 ・目的 ・位置づけ ・策定の流れ ・計画構成（案） ○アンケート調査結果、座談会の実施報告 	
第2回 (2月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりプラン基本構想（素案）の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・現況課題の整理 ・基本方針（案） ・具体的な取り組み（案） 	
第3回 (3月中旬)	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりプラン基本構想（案）について <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・内容、目標指標の設定 ・スケジュール ・概算事業費 ・パブリックコメントの実施について 	

7. 村上駅周辺まちづくりプランの構成（案）

○はじめに

村上駅周辺まちづくりプランとは

1. 村上駅周辺の現況

人口・世帯数・高齢化、未利用地、道路・公園状況など

2. 住民等の意向把握

アンケート結果・座談会結果

3. 村上駅周辺の課題整理

現状や住民意向などをもとに駅周辺地区の課題を整理

4. 駅周辺まちづくり基本方針の設定

現状、住民意向、課題などをもとに、駅周辺地区の将来像や基本方針を策定

5. 基本方針実現のための事業内容の検討

基本方針を実現させるための事業を検討

6. 概算事業費の算定

各事業の概算事業費を算定

7. 事業スケジュールの設定

計画期間における事業スケジュールを設定

8. 評価指標の設定

選定した事業について、その達成度を評価するための客観的指標を設定

【参考】上位計画での駅周辺地区の位置づけ

■村上市都市計画マスタープラン (H22年策定)

村上市のまちづくりの指針となる「村上市都市計画マスタープラン」では、平成42年を目標年に以下の5つを「まちづくりの重点目標」とし、環境にやさしく暮らしやすい「コンパクトなまちづくり」を目指しています。

まちづくりの重点目標 (抜粋)

- 重点目標1**
若者定住 若者が生きづく魅力的な暮らしのある村上市
- 重点目標2**
高齢安心 高齢者が安心して生き生きと暮らせる村上市
- 重点目標3**
交流拡大 多様な交流による地域や人とのつながりを活かす村上市
- 重点目標4**
住み心地 歴史文化が薫る豊かな自然に満ちた快適な村上市
- 重点目標5**
市民協働 市民と行政が互いに支えあう村上市

この中で、村上市街地では「都市拠点の充実」を標榜し、以下の機能強化を目指すとしています。(抜粋)

■都市拠点の充実

- 居住機能の充実
- 都市サービス機能の充実(買物、医療、行政、文化等)
- 地域資源の活用と交流人口の拡大

人どうしのコミュニケーションがあり、歩いて暮らせる便利な“市街地”

村上駅周辺に関連する整備方針としては、以下の点を掲げています。

【J R村上駅周辺の大規模未利用地】(抜粋)

- 交通利便性を活用した当市に相応しい都市型住宅や地域物産展示販売、アミューズメント、防災、緑の交流空間などに配慮した都市機能の整備を目指す

【J R村上駅】(抜粋)

- 橋上駅化も視野に駅西口の開設を目指す
- 交通結節点としてパーク&ライド、駐輪場、バスプールなど、乗り継ぎ機能向上を目指す

<村上駅周辺地区に関する記述>

※左ページに抜粋した箇所を■黄色で着色

■土地利用の方針 (抜粋)

(2) 市街地内土地利用の方針

【中心商業地】

- J R村上駅周辺は、鉄道を利用して訪れる来訪者にとって、村上市の顔ともなるべき玄関口であることから、村上市らしさのある景観にも配慮しながら、休憩・飲食・買物・交流などが楽しめる商業地形成を目指します。

(4) 既定用途地域内未利用地の有効活用

- 今後の都市的な開発については、村上版コンパクトなまちづくりの考えに従い、市街地内の未利用地に優先的誘導し、既存市街地内の多様な都市サービス機能強化と居住人口の確保を目指します。
- J R村上駅周辺にある大規模未利用地については、交通利便性を活用した当市に相応しい都市型住宅や地域物産展示販売、アミューズメント(娯楽・楽しみ)、防災、緑の交流空間などに配慮した都市機能の整備を目指します。



【全体構想】

■交通体系の方針 (抜粋)

(1) 道路網体系(ネットワーク)づくり

【補助幹線道路】

- J R村上駅西口周辺の区画整理事業に伴う区画内道路と、その周辺の幹線・補助幹線道路とのアクセス性を考慮した道路の配置・整備を目指します。

(3) 公共交通などへの転換促進

【鉄道駅の整備】

- J R村上駅をはじめ市内に11箇所ある鉄道駅については、交通結節点としてパーク&ライド(バス停や鉄道駅に併設された駐車場で自家用車から公共交通に乗り換えること)、駐輪場、バスプール(バス乗り場・バスターミナル)などを整備し、乗継ぎ機能の向上を目指します。
- 近隣住民や鉄道利用者の利便性、快適性改善のため、トイレ付き休憩機能や植樹による木陰の創出など、環境整備とその維持保全を目指します。
- 鉄道駅において、最寄りの観光名所や周遊ルートのご案内を表示するなど、鉄道を利用する観光客のための利便性向上を目指します。
- J R村上駅については近年、駅西側で商業施設や住宅地整備により都市機能の充実が進められていることから、橋上駅化も視野に駅西口の開設を目指します。



【パーク&ライドのための環境整備】

- J R村上駅をはじめとした鉄道駅の駐車場整備により、主として市民の日常生活における自動車と公共交通の乗継ぎ機能の向上を目指します。

■都市防災の方針 (抜粋)

(1) 都市防災・防犯

【都市防災】

- J R村上駅前周辺において都市防災のための機能(避難場所・備蓄倉庫など)を促進するなど、安全・安心なまちづくりを目指します。

【地域別構想】

■村上地域の整備方針 (抜粋)

1 「村上市の中核的都市機能を担うまち」の方針

【市街地内の整備】

- 商業機能と住宅地の一体的な整備が進んでいるJ R村上駅西側(現在工業系用途地域)については、駅に近い便利な住宅地として位置づけ、駅西口開設とともに、都市の魅力づくりに資するような施設の立地も視野に入れながら、適正な用途地域への変更を図ります。

3 「誇れるふるさと村上で安心して暮らし続けられるまち」の方針

【身近な生活基盤の整備】

- J R村上駅周辺の未利用地においては、土地所有者の意見も聞きながら、ネーミングライツなどを利用した、市民も来訪者も集える潤いのある公園整備などを目指します。